

# JR北を刑事告発

## 国交省、数値改ざん問題

4/11

同23日に国交省に虚偽報告した②函館保線管理室の社員が同25日、翌日に国交省の特別保安監査が入ると知り、整備基準値を超えたり、1ルの検査データを基準値内に書き換えて検査を妨害した、とされる2点。

同社の社内調査では、①と②に社員計14人がかわわり、うち2人が懲戒解雇、1人が諭旨解雇された。

(工藤隆治、田出)

JR北海道の1ル点検数値改ざん問題で、国土交通省は10日、鉄道事業法違反(虚偽報告、検査妨害)の疑いで当時の社員と法人としての同社を北海道警に刑事告発した。道警は、改ざんがあった保線現場などに数カ所を近く家宅搜索する方針だ。

国交省は、脱線事故直後に検査データを改ざんした悪質性を重くみて、行政処分に加えて刑事責任を問う必要があると判断した。た

「刑事責任を問うには監安全委員会も10日、同委員会で捜査が不完全な点検された。国交省は、改ざんは特定せず、容疑者として、社員誰がかかわったかは特定せず、容疑者不詳のまま捜査に委ねた。

1987年のJR発足以降、国交省が鉄道会社を刑事告発するのは初めて。鉄道局の担当者は「改ざんは監査制度に挑戦する違法行為で、厳正に対処する」と話した。道警に監査資料を提出したが、捜査は長期化する見通し。脱線事故の原因を調べている運輸データなどを小さく書き換え、広がりと左右のすれの検査したものは、①昨年9月19日、函館線脱線事故の直後、現場を管轄する大沼保線管理室の社員が1ルのデータを小さく書き換え、

JR北海道が1ル検査の数値を改ざんして国土交通省保線管理室(七飯町)や函館保線管理室(函館市)など。査前日に数値を書き換え、監査を妨害した疑いがある。国交省は鉄道事業法違反容疑で、運輸安全委員会も調査に虚偽の報告をしたとして同委員会設置法違反容疑で10日、容疑者不詳で、法人としてJR北海道とともに道警に告発した。

告発によると、昨年9月、JR函館線大沼駅で起きた貨物列車脱線事故の直後、大沼改善命令を出しているが、保線管理室で現場の1ル幅質が高いとして告発に踏み切った。

JR北海道が1ル検査の数値を改ざんして国土交通省保線管理室(函館市)など。査前日に数値を書き換え、監査を妨害した疑いがある。国交省は鉄道事業法違反容疑で、運輸安全委員会も調査に虚偽の報告をしたとして同委員会設置法違反容疑で10日、容疑者不詳で、法人としてJR北海道とともに道警に告発した。

告発によると、昨年9月、JR函館線大沼駅で起きた貨物列車脱線事故の直後、大沼改善命令を出しているが、保線管理室で現場の1ル幅質が高いとして告発に踏み切った。

# JR北海道きょう捜査

## レベル値改ざん容疑で

9/12

JR北海道が1ル検査の数値を改ざんして国土交通省保線管理室(函館市)など。査前日に数値を書き換え、監査を妨害した疑いがある。国交省は鉄道事業法違反容疑で、運輸安全委員会も調査に虚偽の報告をしたとして同委員会設置法違反容疑で10日、容疑者不詳で、法人としてJR北海道とともに道警に告発した。

告発によると、昨年9月、JR函館線大沼駅で起きた貨物列車脱線事故の直後、大沼改善命令を出しているが、保線管理室で現場の1ル幅質が高いとして告発に踏み切った。